

◇肺炎・胸膜炎を含めた感染症

肺感染症に対する近年の抗生剤治療はかなり進歩し多くの症例が外来で治療・管理可能となっております。入院が必要な際には即日入院していただき、安静のうえ治療を開始します。治療の最も重要なことは、肺炎の原因微生物を特定し、その微生物をたたくことです。原因が細菌、ウイルス、真菌のいずれかによって、有効な治療薬は全く異なります。原因となっている微生物の見極めは必ずしも容易ではありませんが、適切な治療薬を必要量、必要期間使用し、極力短期間の治療を目指しております。また近年問題となっている誤嚥性肺炎に対しては、肺炎治療だけではなく、入院時に嚥下機能を評価し、必要に応じてリハビリや薬物治療を導入しています。